

平成29年度第1回平塚市美術館協議会次第

平成29年(2017年)8月18日(金)

場 所 平塚市美術館研修室

時 間 午後1時30分から

1.開会

2.委嘱状の交付

3.教育長あいさつ

4.委員紹介

5.職員紹介

6.平塚市美術館協議会について

7.議題

(1)正・副会長の選出について

(2)平成29年度事業について

これまでの事業報告

作品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1

展覧会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2

教育普及・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6

その他の事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 9

施設利用者等の統計・・・・・・・・・・・・・・・・ P 12

今後の事業予定

展覧会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 15

教育普及・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 25

その他の事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 28

(3)その他

8.閉会

平塚市美術館協議会委員名簿

(平成29年8月1日～平成31年7月31日)

氏名	選出分野	備考
ミズサワ ツトム 水沢 勉	学識経験者	再任 (4期目)
ヨシムラ マサユキ 吉村 維元	学識経験者 (大学交流)	新任
セツカ シンイチロウ 瀬高 真一郎	学校教育関係者 (県立学校長会議平塚秦野地区会)	新任
クリキ ユウゴウ 栗木 雄剛	学校教育関係者 (平塚市立中学校長会)	再任 (4期目)
ナリシゲ チエコ 成重 千恵子	学校教育関係者 (平塚市立小学校長会)	新任
ウチダ ナオコ 内田 尚子	社会教育関係者 (平塚美術家協会)	新任
イワサキ ユキコ 岩崎 由紀子	社会教育関係者 (公益財団法人平塚市まちづくり財団)	新任
アオキ トモアキ 青木 智明	家庭教育の向上に資する活動を行う者 (市民公募委員)	新任

博物館法（抜粋）

制 定 昭和 26 年 12 月 1 日法律第 285 号
最終改正 平成 26 年 6 月 4 日法律第 51 号

第 3 章 公立博物館

（博物館協議会）

第 20 条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第 21 条 博物館協議会の委員は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

第 22 条 博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

平塚市美術館の設置及び管理等に関する条例（抜粋）

制 定 平成 2 年 9 月 28 日条例第 9 号
最終改正 平成 24 年 3 月 23 日条例第 12 号

（美術館協議会）

第 15 条 美術館に、美術館協議会を置く。

2 美術館協議会の名称は、平塚市美術館協議会（以下「協議会」という。）という。

（委員の任命の基準）

第 16 条 協議会の委員（以下「委員」という。）は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命する。

（定数及び任期）

第 17 条 委員の定数は、10 人以内とする。

2 委員の任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。

3 委員に欠員を生じたときは、速やかに補欠の委員を補充しなければならない。

4 補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委任）

第 18 条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理及び運営等並びに協議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

平塚市美術館の設置及び管理等に関する条例施行規則（抜粋）

制 定 平成 2 年 1 1 月 3 0 日教委規則第 6 号

最終改正 平成 2 8 年 2 月 1 9 日教委規則第 1 号

（協議会の定数）

第 2 0 条 条例第 1 7 条第 1 項の規定による平塚市美術館協議会（以下「協議会」という。）の委員の定数は、8 人とする。

（会長及び副会長）

第 2 1 条 協議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選による。

3 会長は、協議会を主宰し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。

（招集）

第 2 2 条 協議会の会議は、必要に応じて会長が招集する。

（定足数）

第 2 3 条 協議会は、在任委員の過半数が出席しなければ議事を開き、議決することができない。

（表決）

第 2 4 条 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

（委任規定）

第 2 5 条 前 5 条に規定するもののほか、協議会の運営について必要な事項は、会長が協議会に諮り定める。

平成 29 年度 第 1 回協議会資料 目次

平成 29 年度 事業報告

作品.....	1
(1) 展示.....	1
(2) 貸出.....	1
展覧会.....	2
(1) 企画展 リアル(写実)のゆくえ - 高橋由一、岸田劉生、そして現代につなぐもの.....	2
(2) 企画展 斎藤文夫コレクション 浮世絵・神奈川名所めぐり.....	4
教育普及.....	6
その他の事業.....	9
(1) 事業.....	9
(2) 団体向け研修・体験プログラム.....	10
(3) 定例会議.....	11
(4) その他.....	11
施設利用者等の統計.....	12
(1) 展覧会.....	12
(2) 貸出施設.....	13
施設の管理.....	14
(1) 防災訓練.....	14

平成 29 年度 事業予定

展覧会.....	15
(1) 特集展 夏の所蔵品展 山の絵.....	15
(2) 企画展 ブラティスラヴァ世界絵本原画展 絵本の 50 年 これまでとこれから.....	17
(3) 企画展 神山明・濱田樹里展.....	19
(4) 企画展 片岡球子展 - 面構 神奈川県立近代美術館コレクションを中心に.....	21
(5) 特集展 ロビー展 長谷川さちの彫刻.....	23
(6) 特集展 所蔵作品による“なんだろう”展 + 新収蔵品展.....	24
教育普及.....	25
その他の事業.....	28
(1) 事業.....	28

平成 29 年度 事業報告

作品

(1) 展示

当館展覧会において下表のとおり作品を展示しました。

NO	種別	展覧会名	総出品点数	うち所蔵・寄託	うち借用
1	企画展	リアルのゆくえ - 高橋由一、岸田劉生、そして現代につながるもの	98 点	4 点	94 点
2	企画展	斎藤文夫コレクション 浮世絵・神奈川名所めぐり	204 点	0 点	204 点
3	特集展	夏の所蔵品展 山の絵	60 点	60 点	0 点
4	企画展	ブラティスラヴァ世界絵本原画展 絵本の 50 年 これまでとこれから	326 点	0 点	326 点
計			688 点	64 点	624 点

(2) 貸出

開催展覧会の内容や意義、開催場所の設備・環境、作品の状態や当館での利用予定などを考慮し、下表の通り作品を貸し出しました。

NO	貸出先	展覧会名・会期	点数	作家・作品名
1	岩手県立美術館、萬鉄五郎記念美術館、神奈川県立近代美術館、新潟県立近代美術館	「没後 90 年 萬鉄五郎展」 4 月 15 日～6 月 18 日、7 月 1 日～9 月 3 日、9 月 16 日～11 月 19 日	8 点	萬鉄五郎「風景(塀の見える風景)」、「雲と裸婦」、「宙腰の人」、「茅ヶ崎風景(海岸風景)」、「富士(砂丘風景)」、「静物」、「風景」、「茅ヶ崎風景」
2	名都美術館	「白寿記念 堀文子展」 4 月 4 日～5 月 28 日	1 点	堀文子「早苗の頃」
3	千葉市美術館	「椿貞雄 歿後 60 年記念展」 6 月 7 日～7 月 30 日	1 点	椿貞雄「朝子像」
4	足利市立美術館、碧南市藤井達吉美術館、姫路市立美術館	「リアル(写実)のゆくえ展」 6 月 17 日～7 月 30 日、8 月 8 日～9 月 18 日、9 月 23 日～11 月 5 日	3 点	椿貞雄「菊子座像」、木下晋「休息」、清水敦次郎「老人と髑髏」(寄託作品)
5	熊本市現代美術館	「三沢厚彦 ANIMALS in 熊本」 6 月 24 日～9 月 3 日	2 点	三沢厚彦「Animal 2007-01」、「Animal 2007-02」(寄託作品)
6	横須賀美術館	「開館 10 周年記念 美術でめぐる日本の海」 7 月 8 日～8 月 27 日	1 点	黒田清輝「波打ち際の岩」
計			16 点	

展覧会

平成29年度 展覧会

(1) 企画展 リアル(写実)のゆくえ - 高橋由一、岸田劉生、そして現代につながるもの

種別	企画展
会期	4月15日(土)～6月11日(日)
主催	平塚市美術館
協賛	神奈川中央交通(株)
協力	NHKプラネット中部
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休館日	月曜日
観覧料	一般800円、高大生500円
開催日数	50日
観覧者数	25,318人
担当	土方明司(当館館長代理)、品川ちひろ(当館嘱託員)



磯江毅《鮭 高橋由一へのオマージュ》、2003年、油彩・板、個人蔵



高橋由一《鮭》、制作年不詳、油彩・キャンバス、山形美術館寄託

内容

江戸時代から徐々に将来された西洋画は、その科学的な写実技法により伝統的な日本の絵画と大きく異なり、当時の人々に衝撃を与えました。高橋由一は西洋の石版画と邂逅し、その迫真の描写に感動して洋画家を志しました。彼にとって写実とは、自然や身近なものなど外界に対する清新な感動を伝える手立てとして機能しました。さらに大正期、岸田劉生は北方ルネサンスの巨匠たちの「クラシックの美」をめざし卓抜した描写力で写実を極めました。それは現実を超え出る写実であり「内なる美」の表出として高く評価されています。劉生および彼の率いる草土社は同時代の青年画家たちに大きな影響をもたらしました。ここにおいて写実とは外界の描写のみならず内面を表出する手段として機能しました。由一と劉生の事物に対するアプローチは異なりますが、両者とも偽りのない心情を示すため細部まで写實的に再現する必要があったことに変わりはありません。

その後、写実絵画は時代の変遷とともに、様々な役割を担いました。また、写実という概念そのものも時代の思潮により変化をきたしました。それは西洋由来の写実をいかに消化し己のものにするかという意識の表れかもしれません。

今また細密描写による写実が注目されています。本展は、移入され150年を経た写実がどのように変化しまた変化しなかったのか、日本独自の写実とは何かを作品により検証し、明治から現代までの絵画における写実のゆくえを追うものです。

関連事業

巡回4館の学芸員によるリレーギャラリートーク

日時：4月15日(土) 15:00～16:00

場所：展示室 申込不要、要観覧券

参加者数：65人

担当学芸員によるギャラリートーク

日時：4月23日(日)、5月13日(土) 各回 14:00～14:40

場所：展示室 申込不要、要観覧券

参加者数：40人、41人

親子鑑賞サポートタイム

親子で作品を鑑賞する際のポイントについてレクチャーを受け、実際に展示室で展覧会を鑑賞します。

日時：5月12日(金) 10:00～11:00

場所：展示室、ミュージアムホール

対象：未就学児とその保護者 保護者は要観覧券

参加者数：13人

対談 江尻潔(足利市立美術館学芸員) × 土方明司(当館館長代理)

「リアル(写実)のゆくえ展を熱く語る」

日時：5月21日(日) 14:00～15:30

場所：ミュージアムホール 申込不要、無料、先着150名

参加者数：135人

(2) 企画展 斎藤文夫コレクション 浮世絵・神奈川名所めぐり

種別	企画展
会期	4月15日(土)～6月11日(日) 前期：4月15日(土)～5月14日(日) 後期：5月16日(火)～6月11日(日)
主催	平塚市美術館
特別協力	公益社団法人 川崎・砂子の里資料館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休館日	月曜日
観覧料	一般400円、高大生200円
開催日数	50日
観覧者数	24,543人
担当	家田奈穂(当館学芸員)



葛飾北斎《富嶽三十六景 神奈川沖浪裏》後期展示



歌川広重《東海道五拾三次之内平塚縄手道》前期展示

内容

太平の世を謳歌していた江戸時代後半、多くの人々が旅に出るようになりました。その背景として、江戸・日本橋を起点とした各街道が徐々に整備されて道中の安全性が高まったこと、経済の発展により人々の生活に余裕が生まれたこと、また、十返舎一九作『東海道中膝栗毛』の大ヒットにより旅への関心が強まったことなどが挙げられます。旅に出ることが叶った人々は、伊勢神宮などへの参詣を名目に、東海道を上りながらの物見遊山を楽しみました。

現在の神奈川県域は、江戸時代には武州（武蔵国）・相州（相模国）と呼ばれ、江戸の庶民が信仰した寺社や古くからの景勝地が点在していました。江の島や大山は信仰の場所として多くの参詣者を集め、金沢は風光明媚な場所として、箱根は湯治場として人気がありました。また、武州・相州には、京と江戸を結ぶ主要な幹線道路である東海道が通り、平塚をはじめとする宿場町が賑わいをみせていました。各地のそのような賑わいが、多くの浮世絵師によって描き出されています。

本展は、川崎・砂子（いさご）の里資料館館長・斎藤文夫氏が長年にわたって精力的に収集した浮世絵の中から、神奈川県内の名所・東海道の宿場を題材とした優品200点をご紹介しますことで、郷土の魅力を再確認しようとするものです。ここでご覧いただく名所の多くは、現在も変わらず私たちにとって馴染み深い観光地です。その今昔をお楽しみください。

関連事業

講演会「浮世絵あれこれ」

日時：4月15日(土) 10:30～11:30

講師：斎藤文夫氏（公益社団法人 川崎・砂子の里資料館館長、神奈川県観光協会会長）

場所：ミュージアムホール 無料、先着 150名

参加者数：150人

浮世絵版画 摺りの実演会

日時：5月14日(日) 11:00～12:30、14:00～15:30

講師：公益財団法人 アダチ伝統木版画技術保存財団

場所：ミュージアムホール 無料、先着 50名

参加者数：60人、50人

担当学芸員によるギャラリートーク

日時：4月22日(土)、5月20日(土) 各回 14:00～14:40

場所：展示室 申込不要、要観覧券

参加者数：40人、40人

親子鑑賞サポートタイム

日時：5月17日(水) 10:00～11:00

場所：ミュージアムホール

対象：未就学児とその保護者 申込不要、保護者は要観覧券

参加者数：16人

教育普及

平成 29 年度上半期実施プログラム

14 プログラムを実施。719 人

担当：江口恒明(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)、品川ちひろ(当館嘱託員)、石丸郁乃(当館嘱託員)

NO.	講座名	講師名	開催日	材料費	対象	参加人数
1	体験アートセラピー 親子でパステルアート 笑顔のカードを作ろう	福山恵美子(アートセラピ スト)	4月22日(土)	200円	親子(小・中学 生)	10組19人
2	遊んでのびのび赤ちゃ んアート 春 (連続講座)	富田めぐみ(NPO法人赤ちゃ んからのアートフレンドシ ップ協会 代表理事)	4月27日(木)、 5月11日(木)、 6月8日(木)	500円	親子(1歳~2 歳3ヶ月の未 就園児)	25組51人
3	バックヤードツアー ~美術館の地震対策を 考える~	当館学芸員	5月20日(土)	なし	一般	15人
4	東海大学協働事業 デッサン教室 所蔵彫刻作品を描いて みよう 一般の部	滝波重人、河野孝博(東海大 学教授)	6月4日(日)	500円	18歳~一般	15人
5	型ガラスでオブジェを 作ろう!!(連続講座)	大谷佳子(ガラス作家)	6月10日(土)、 6月24日(土)	2,000円	中学生~一般	10人
6	おうちの窓を天の川に しよう!星とカササギ の七夕モビール作り (連続講座)	依田梓(美術作家)	7月2日(日)	500円	親子(小・中学 生)	8組18人
7	体験アートセラピー 親子でパステルワーク ~お魚塗り絵で遊ぼう~	福山恵美子(アートセラピ スト)	7月8日(土)	200円	親子(小・中学 生)	9組18人
8	遊んでのびのび 赤ちゃんアート 夏 (連続講座)	富田めぐみ(NPO法人赤ち ゃんからのアートフレンド シップ協会 代表理事)	7月13日(木)、 8月3日(木)、 9月7日(木)	500円	親子(1歳~2 歳3ヶ月歳の 未就園児)	21組42人
9	光のりんごに想いを 込めよう	当館学芸員	7月22日(土) ~8月6日(日)	なし	0歳~一般	420人
10	作ってあそぼう わくわくランド	市内保育士 5名	7月29日(土)	なし	親子(0~6歳 の未就園児)	43組99人
11	BIB 展関連事業 絵本 作家・松田奈那子さんと いっしょにちょうちょ を描こう!	松田奈那子(画家・絵本作 家)	8月4日(金)	500円	3歳~一般	12人
12	中高生ボランティアと 工作をしよう! 缶バッジ・プラバン作り ワークショップ	中学生高校生ボランティア	8月11日(金) ~13日(日)	50円	3歳~一般	
13	作ってあそぼう わくわくランド	市内保育士 6名	8月19日(土)	なし	親子(0~6歳 の未就園児)	
14	0才からの鑑賞ツアー	富田めぐみ(NPO法人赤ち ゃんからのアートフレンド シップ協会 代表理事)	8月30日(水)	なし	親子(0~2歳)	

スクールプログラム

10 プログラムを実施。169人。

担当：江口恒明(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)、品川ちひろ(当館嘱託員)、石丸郁乃(当館嘱託員)

NO.	講座名	講師名	開催日	材料費	対象	参加人数
1	先生のための美術鑑賞広場 ～リアル(写真)のゆくえ～	当館学芸員	5月7日(日)	なし	小・中・高・特別 支援学校の教員	9人
2	大神保育園鑑賞ツアー	富田めぐみ(NPO法人 赤ちゃんからのア ートフレンドシップ協 会 代表理事)	5月30日(火)	なし	大神保育園の年 長組と引率教員	21人
3	藤沢市小学校教育研究所 図工部会研修	当館学芸員	7月21日(金)	なし	藤沢市小学校教 育研究会図工部 会の教員	68人
4	伊勢原市小学校教育研究会	当館学芸員	7月25日(火)	なし	伊勢原市小学校 の教員	16人
5	先生のための美術館賞広場 ～ブラティスラヴァ世界絵 原画展～	当館学芸員	8月2日(水)	なし	小・中・高・特別 支援学校の教員	13人
6	平塚市小学校教育研究会	当館学芸員	8月3日(木)	なし	平塚市小学校の 教員	34人
7	採用5年、10年経験者研修の 受け入れ	当館学芸員	8月4日(金) ～13日(日)	なし	小・中・高校・特 別支援学校の教 員	8人
8	中高校生ボランティアと一緒 に工作をしよう！ 缶バッジプラン作りワーク ショップ・プレ	当館嘱託員	8月9日(水)	なし	ボランティア参 加希望者	
9	先生向け体験ワークショップ マーブリング講座	正能均(マーブリン グアート協会)	8月16日(水)	1,700円	小・中・高・特別支 援学校の教員	
10	小田原市小学校教育研究会	当館学芸員	8月23日(水)	なし	小田原市小学校 の教員	

アートカードの貸出

平塚市美術館を代表する所蔵作品48点のカードと遊び方の説明書を合わせたアートカードセットを学
校向け教材として無料貸出を行っています。

対話による美術鑑賞事業（ボランティア育成）

市内小学校で実施する「対話による美術鑑賞」事業の為、ボランティア育成のための研修を実施しました。12講座実施。131人。

担当：江口恒明(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)

NO.	研修名	講師名	開催日	参加人数
1	実践研修 12回目(2期)	三ツ木紀恵(ARDA)	4月6日(木)	12人
2	実践研修 13回目(2期)	当館嘱託員	4月20日(木)	12人
3	実践研修 14回目(2期)	三ツ木紀恵(ARDA)	5月18日(木)	20人
4	実践研修 15回目(2期)	当館嘱託員	5月25日(木)	11人
5	鑑賞&トーク体験会	当館嘱託員、ひらびあーつま~れ8名	5月27日(土)	5人
6	実践研修 16回目(2期)	三ツ木紀恵(ARDA)	6月1日(木)	12人
7	鑑賞&トーク体験会	当館嘱託員、ひらびあーつま~れ8名	6月6日(火)	12人
8	実践研修 17回目(2期)	当館嘱託員	6月22日(木)	10人
9	実践研修 18回目(2期)	三ツ木紀恵(ARDA)	7月6日(木)	15人
10	説明会兼面談会(3期)	三ツ木紀恵(ARDA)	7月15日(土)	6人
11	説明会兼面談会(3期)	三ツ木紀恵(ARDA)	7月16日(日)	6人
12	実践研修 19回目(2期)	当館嘱託員	7月20日(木)	10人

中学生を対象に対話による美術鑑賞を実施しました。

1プログラム実施。113人。

NO.	学校名	講師名	開催日	学年	参加人数
1	平塚市立太洋中学校	ひらびあーつま~れ 15名	6月14日(水)、 6月15日(木)	1年生	113人

夏休みに期間限定で一般来館者を対象に対話による美術鑑賞を実施しました。

5講座実施予定。35人。

NO.	鑑賞会名	講師名	開催日	参加人数
1	絵を見て発見!夏のしゃべり美術館 1回目	ひらびあーつま~れ 14名	7月25日(火)	27人
2	絵を見て発見!夏のしゃべり美術館 2回目	ひらびあーつま~れ 20名	8月1日(火)	8人
3	絵を見て発見!夏のしゃべり美術館 3回目	ひらびあーつま~れ	8月8日(火)	
4	絵を見て発見!夏のしゃべり美術館 4回目	ひらびあーつま~れ	8月15日(火)	
5	絵を見て発見!夏のしゃべり美術館 5回目	ひらびあーつま~れ	8月22日(火)	

その他の事業

(1) 事業

七夕飾り

会期：7月2日(日)～7月17日(月・祝)

主催：平塚市美術館

内容：平塚の七夕祭りにあわせて、ワークショップ「おうちの窓を天の川にしよう！星とカササギの七夕モビールづくり」で制作した七夕飾りを展示しました。ワークショップ講師、参加者の方々と一緒に飾りつけ、来館者の目を楽しませました。

展示指導：依田梓（ワークショップ講師、美術家）

場所：テーマホール 自由観覧



(2) 団体向け研修・体験プログラム

平成 29 年 7 月 31 日現在

No	種別	開催日	団体名	内容	人数
1	学習	5月12日(金)	平塚市南ブロック公民館	「リアルゆくえ」「浮世絵・神奈川名所めぐり」 見学とレクチャー	34人
2	学習	5月17日(水)	おもしろ美博館めぐり	「リアルゆくえ」 見学とレクチャー	20人
3	学習	5月26日(金)	平塚市大神公民館	「リアルゆくえ」「浮世絵・神奈川名所めぐり」 見学とレクチャー	12人
4	学習	5月27日(土)	岡上文学の会	「リアルゆくえ」 見学とレクチャー	10人
5	学習	6月6日(火)	平塚理容組合 女性部	「リアルゆくえ」「浮世絵・神奈川名所めぐり」 見学とレクチャー	21人
6	学習	6月8日(木)	平塚市八幡公民館	「リアルゆくえ」「浮世絵・神奈川名所めぐり」 見学とレクチャー	36人
7	学習	7月9日(日)	平塚市オリンピック・パラ オリンピック推進課	「浮世絵・神奈川名所めぐり」 見学とレクチャー	21人
8	学習	7月27日(木)	平塚市西ブロック公民館	「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」 見学とレクチャー	40人
9	学習	7月28日(金)	平塚市北ブロック公民館	「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」 見学とレクチャー	35人
計					229人

(3) 定例会議

美術館協議会

委員(敬称略) 8名

水沢勉(学識経験者)、吉村維元(学識経験者)、瀬高真一郎(学校教育関係者)、栗木雄剛(学校教育関係者)、成重千恵子(学校教育関係者)、内田尚子(社会教育関係者)、岩崎由紀子(社会教育関係者)、青木智明(家庭教育の向上に資する活動を行う者)

開催日/議題

第1回 平成29年8月18日(金) 平成29年度事業報告及び事業予定について
第2回 平成30年3月開催予定 平成29年度事業報告、平成30年度事業計画(案)について

美術品選定評価委員会

委員(敬称略) 5名

猿渡紀代子(学識経験者)、橋秀文(学識経験者)、鶴見香織(学識経験者)、原田光(学識経験者)、橋本善八(学識経験者)

開催日：平成30年1月開催予定

(4) その他

企画展「ブラティスラヴァ世界絵本原画展 絵本の50年 これまでとこれから」で、午後6時までの開館延長と親子割引を実施。

施設利用者等の統計

平成 29 年 7 月 31 日現在

(1) 展覧会

観覧者数

月	開館日数	企画展	特集展	合計
4月	26日	5,693人	-	5,693人
5月	26日	23,502人	-	23,502人
6月	26日	20,666人	-	20,666人
7月	26日	4,200人	3,848人	8,048人
8月				
9月				
10月				
11月				
12月				
1月				
2月				
3月				
計	104日	54,061人	3,848人	57,909人

学校観覧

		企画展			特集展		
		学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数
小学校	市内	1校	76人	4人	0校	0人	0人
	市外	5校	228人	14人	3校	164人	10人
中学校	市内	18校	454人	50人	0校	0人	0人
	市外	9校	156人	39人	4校	108人	7人
高等学校		5校	77人	31人	3校	63人	29人
計		38校	991人	138人	10校	335人	46人

(2) 貸出施設

市民アートギャラリー

月	利用日数	団体数	入場者数
4月	24日	4団体	2,995人
5月	30日	7団体	5,930人
6月	24日	7団体	5,311人
7月	20日	5団体	3,536人
8月			
9月			
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			
計	98日	23団体	17,772人

ミュージアムホール

月	利用日数	団体数	入場者数
4月	6日	6団体	477人
5月	-	-	-
6月	7日	7団体	518人
7月	1日	1団体	40人
8月			
9月			
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			
計	14日	14団体	1,035人

5月は展覧会関連映像上映のため貸出実績はありません。

アトリエ

月	利用日数	団体数	入場者数
4月	1日	1団体	5人
5月	3日	3団体	13人
6月	2日	2団体	32人
7月	1日	1団体	4人
8月			
9月			
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			
計	7日	7団体	54人

施設の管理

(1) 防災訓練

実施日時

6月2日(金) 9:00～9:30

内容

- ・全国瞬時警報システム(緊急地震速報)配信時の対応
- ・大地震発生時の対応
- ・火災発生時の対応(通報・初期消火・避難誘導)
- ・津波避難行動訓練
- ・水消火器での消火訓練
- ・展示準備室からの避難経路の確認

想定

全国瞬時警報システムによる緊急地震速報が配信され、その後大地震が発生する。地震の影響で、市民アートギャラリーA控室から火災が発生し、火災報知機が火災を感知する。

設備員が現場に急行し、火災発生を現認して事務所に報告する。初期消火活動を行うとともに、消防に通報し、来館者の避難誘導を行う。

平成 29 年度 事業予定

展覧会

(1) 特集展 夏の所蔵品展 山の絵

種 別	特集展
会 期	7月1日(土)～9月10日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで) 8月5日(土)～8月27日(日)は開館時間を1時間延長
休館日	月曜日 7月17日(月・祝)は開館、翌火曜日休館
観覧料	一般200円、高大生100円
開催日数	62日
担 当	家田奈穂(当館学芸員)



岩橋英遠《戸隠》1976年、当館寄託作品



高良眞木《丘の径 百日草》1957年頃

内容

このたび、平塚市美術館では、2016年に制定された「山の日」を記念して所蔵品による山の絵展を開催いたします。

山がいまだ多くの人にとって未知の領域であったころ、それは畏怖や信仰の対象であったり、仙境を投影するものでした。明治30年代に入って近代登山が始まると、日本アルプスの壮大な風景が登山家たちによって発見され始めました。その後、大正から昭和前期にかけて登山ブームが巻き起こり、更に交通機関が発達するにつれ、登山を目的としない人々も手軽に山岳風景に接することが可能になりました。こうして「山」という新しい風景が人々の眼前に展開します。山々の壮大な連なり、陽光や月光に照らされて輝く山容、新緑や雪に覆われた様子、山に分け入れば、雄大な滝や木々に埋め尽くされた視界の中に、変化に満ちた光景が広がっています。豊かな魅力をたたえた風景に接した画家たちは、そのみずみずしい感動を作品化しました。

本展では、明治から現代までの山を描いた作品を紹介し、その表現の多様性を示すとともに、山の魅力を絵画の世界から振り返ろうとするものです。

関連事業

絵を見て発見！夏のおしゃべり美術館

対話による美術鑑賞ボランティア「ひらびあーつま〜れ」のメンバーと一緒におしゃべりをしながら作品を鑑賞します。

日時：7月25日(火)～8月22日(火)の各火曜日 各回 11:00～(所要時間約1時間)

集合場所：展示室 前

対象：小学生 保護者参加可、保護者は要観覧券

学芸員によるギャラリートーク

日時：7月15日(土)、8月12日(土) 各回 14:00～14:30

場所：展示室 申込不要、要観覧券

親子鑑賞サポートタイム

親子で作品を鑑賞する際のポイントについてレクチャーを受け、実際に展示室で展覧会を鑑賞します。

日時：8月25日(金) 10:00～(所要時間約1時間)

場所：ミュージアムホール

対象：未就学児とその保護者 保護者は要観覧券、申込不要

(2) 企画展 ブラティスラヴァ世界絵本原画展 絵本の50年 これまでとこれから

種別	企画展
会期	7月8(土)～8月27日(日)
主催	平塚市美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
後援	スロヴァキア共和国大使館、絵本学会
協賛	ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網、(株)中川ケミカル、神奈川中央交通(株)
協力	スロヴァキア国際児童芸術館(BIBIANA)、一般社団法人日本国際児童図書評議会(JBBY)
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで) 8月5日(土)～8月27日(日)は開館時間を1時間延長
休館日	月曜日 7月17日(月・祝)は開館、翌火曜日休館
観覧料	一般900円、高大生500円
開催日数	46日
担当	江口恒明(当館学芸員)



田島征三《ちからたろう》1967年
刈谷市美術館蔵



ミロコマチコ《オレときいろ》2015年

内容

スロヴァキア共和国の首都ブラティスラヴァで2年ごとに開催される「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」(略称 BIB=Biennale of Illustrations Bratislava)は、おりしも東西冷戦のさなか、絵本芸術を通じて各国文化の架け橋となるべく、1965年に創設されました。

1967年に第1回展が開催され、のちに芸術性の高い作品や実験的でユニークな作品が集まる世界最大規模の絵本原画コンクールとして知られるに至ります。そして2015年秋には第25回・50周年を迎えました。

日本巡回展となる本展では、まず第1部として「日本の絵本の歴史50年」を振り返ります。日本はBIBとの関わりが深く、第1回展では瀬川康雄《ふしぎなたけのこ》がグランプリに輝いています。その後も、田島征三《ちからたろう》(1969 金のりんご賞)、中辻悦子《よるのようちえん》(1999 グランプリ)、出久根育《あめふらし》(2003 グランプリ)などの受賞歴があり、つねに高い評価を得てきました。これら歴代参加作品を通じて、日本の絵本文化の変遷をたどります。

また、第2部として、第25回展の受賞作品、および日本からのノミネート作品を紹介します。25回展では、ミロコマチコ《オレときいろ》が金のりんご賞を受賞しています。各国作家の作品から原画ならではの味わいとともに、絵本のこれからを期待させる新鮮な表現、独創的な試みをご覧ください。

関連事業

絵本作家・松田奈那子さんといっしょにちょうちょを描こう！

日時：8月4日(金) 13:30～16:30

場所：アトリエ

対象：3歳～小学生

光のりんごに想いを込めよう

日時：7月22日(土)～8月6日(日)

場所：テーマホール

対象：0歳～一般 各日先着30名

みんなで選ぼうお気に入りの絵本原画！！～ひらつか子ども審査員賞～

投票期間：7月8日(土)～8月10日(木)

発表期間：8月15日(火)～8月27日(日)

対象：本展来場の中学生までの子ども

夏休みに美術館・博物館・図書館をめぐる！スタンプラリー

期間：7月21日(金)～8月29日(火)

学芸員によるギャラリートーク

日時：7月22日(土)、8月19日(土) 各回14:00～14:40

場所：展示室 申込不要、要観覧券

親子鑑賞サポートタイム

日時：7月14日(金) 10:00～(所要時間約1時間)

集合場所：ミュージアムホール

対象：未就学児とその保護者 申込不要、保護者は要観覧券

(3) 企画展 神山明・濱田樹里展

種 別	企画展
会 期	9月30日(土)～11月26日(日)
主 催	平塚市美術館
助 成	公益財団法人 朝日新聞文化財団・公益財団法人 野村財団
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休館日	月曜日 10月9日(月・祝)は開館、翌火曜日休館
観覧料	一般400円、高大生200円
開催日数	50日
担 当	勝山滋(当館学芸員)



神山明《経験と世界の交わり》2000年



神山明《僕が空へ行く夜》1987年



濱田樹里《流・転・生》部分、2011年

内容

没後5年となる湘南ゆかりの彫刻家、神山明(かみやまあきら、1953～2012)と、近年画境の進展著しい日本画家、濱田樹里(はまだじゅり、1973～)の大作を紹介します。神山明は長く横浜に住んだ彫刻家で、東京芸術大学大学院を修了後、杉材にオイルステインを施し、三日月や星、さらに小屋や塔、階段などを組み合わせた風景彫刻ともいうべき作品を制作し、日本国際美術展、サンパウロ・ビエンナーレほか国内外の展覧会に出品を重ねます。小屋の内部も精緻に作り込みを施した建築のようでありながら、その作品世界には全体に人間の気配が感じられ、どこかわれわれの記憶を呼び起こします。東海大学で教壇にたつなど後進の育成にも努めますが、2012年に59歳で他界しました。

一方、濱田樹里はインドネシア生まれ。愛知県立大学、及び大学院で日本画を学び、2000年に上野の森美術館大賞展入選。2010年名古屋市芸術奨励賞新人賞受賞。損保ジャパン美術財団選抜奨励展に出品。愛知県立美術館、一宮市三岸節子記念美術館で個展を開き、2012年には日経日本画大賞展で大賞を受賞。日本画の画材で草花を描きながら、その印象はダイナミックかつエキゾチックで動きに満ち、大地を覆う生命力が象徴されています。

本展では、神山明の作品13点と、濱田樹里の幅16メートルを超える作品4点によって、それぞれの対照的な作品世界をひもときます。

関連事業

アーティストトーク

講師：濱田樹里（日本画家）

日時：10月28日(土) 14:00～15:00

場所：展示室 申込み不要、要観覧券

対談「神山明芸術を語る」

講師：浜田真理（画家・神山明夫人）

聞き手：勝山滋（当館学芸員）

日時：11月18日(土) 14:00～15:00

場所：展示室 申込み不要、要観覧券

当館学芸員によるギャラリートーク

日時：10月7日(土)、11月23日(木・祝) 各回 14:00～14:40

場所：展示室 申込み不要、要観覧券

ワークショップ

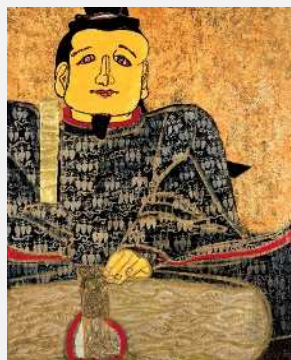
講師：濱田樹里（日本画家）

日時：10月29日(日) 13:30～16:30

場所：アトリエ

(4) 企画展 片岡球子 - 面構 神奈川県立近代美術館コレクションを中心に

種別	企画展
会期	9月30日(土)～11月26日(日)
主催	平塚市美術館
特別協力	荒井商事(株)、DNライティング(株)、日産車体(株)、平塚信用金庫、(株)アイメックス、愛宕精工(株)、(株)アマヤ、神田交通(株)、神田鉄工(株)、湘南造園(株)、神鋼産業(株)、高崎金属(株)、成瀬産業(株)、松上産業(株)、松上産商(株)、(株)山川機械製作所、横浜ゴム(株)、(株)ワイテック
協賛	神奈川中央交通(株)
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休館日	月曜日 10月9日(月・祝)は開館、翌火曜日休館
観覧料	一般800円、高大生500円
開催日数	50日
担当	江口恒明(当館学芸員)



片岡球子《面構 足利尊氏》1967年 神奈川県立近代美術館蔵



片岡球子《面構 国貞改め三代豊国》1976年
神奈川県立近代美術館蔵

内容

片岡球子(1905～2008)は札幌に生まれ、画家を志して女子美術専門学校(現:女子美術大学)に学び、再興日本美術院展覧会(院展)を中心に活動をつづけた日本画家です。1926年に同校卒業後、横浜市大岡尋常小学校の教諭をつとめながら画業を始め、1930年《枇杷》で院展に初入選しました。さらに、安田鞞彦などに学び、1955年には女子美術大学の専任講師に就任します。

その後、愛知県立芸術大学の教授となった1966年、《面構 足利尊氏》を発表しました。これを皮切りに「面構」と題した連作を生涯にわたって描き続け、その画業を代表する作品といえます。「面構」は、戦国武将や禅僧、浮世絵師など、作家が共感を寄せた歴史上の人物のひとりとなりを描いたものです。彼らが「現代に生きていたら、どんな行動をするか」という点から着想して、その人物の肖像画や同時代の風俗を参照しながら、独自の解釈を加えて表現しています。

このほかに、「富士山」や「裸婦」などをテーマとした作品があり、いずれも鮮烈な色彩と大胆な造形感覚を特徴とし、日本画壇に限らず広く現代の絵画に造形上の問いを投げかけてきました。本展では、神奈川県立近代美術館の所蔵する作品を中心に、「面構」から日本画家・片岡球子に迫ります。

関連事業

講演会「芸術家のことば、そして、先生のことば」

講師：山本直彰氏（日本画家・武蔵野美術大学特任教授）

日時：11月4日(土) 14:00～15:30

場所：ミュージアムホール

学芸員によるギャラリートーク

日時：10月28日(土)、11月25日(土) 各回 14:00～14:40

場所：展示室 申込不要、要観覧券

親子鑑賞サポートタイム

日時：11月8日(水) 10:00～(所要時間約1時間)

集合場所：ミュージアムホール

対象：未就学児とその保護者 申込不要、保護者は要観覧券

(5) 特集展 ロビー展 長谷川さちの彫刻

種別	特集展
会期	12月2日(土)～2018年4月8日(日)
主催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00
休館日	月曜日 1月8日(月・祝)(翌火曜日休館)、2月12日(月・振休)は開館 年未年始(12月29日(金)～1月3日(水))
観覧料	無料
開催日数	105日
担当	勝山滋(当館学芸員)



長谷川さち《brush》

内容

平塚市美術館のテーマホールを用いた「ロビー展」は、2006年12月にはじまり、今回で11回目となります。外光の降り注ぐ高さ11メートルの空間を舞台に、冬季実質100日以上のお会期となる観覧無料の展示となります。今年度は、彫刻家、長谷川さち(1982～)の石彫作品によるロビー展を行います。

長谷川さちは1982年兵庫県生まれ。武蔵野美術大学造形学部彫刻学科をへて同大学院美術専攻彫刻コースを修了。2005年以降東京近辺での個展、グループ展を中心に発表しています。

カーテンやブラシなど、もともとモチーフとなった器物は、作家の手にかかるとどこか古(いにしえ)の石器時代のこの世ならざる媒質となって立ち現れます。作家は展示空間の空気に触発され、東京国立博物館柳瀬荘の和空間や青梅市立美術館の緑をのぞむ窓辺と共鳴して新たな世界観を生み出してきました。

湘南の光あふれるテーマホールの大空間に触発され、生まれる石彫の世界をご堪能ください。

関連事業

アーティストトーク

日時：未定

場所：テーマホール 申込不要

ワークショップ

日時：未定

場所：アトリエ

(6) 特集展 所蔵作品による“なんだろう”展 + 新収蔵品展

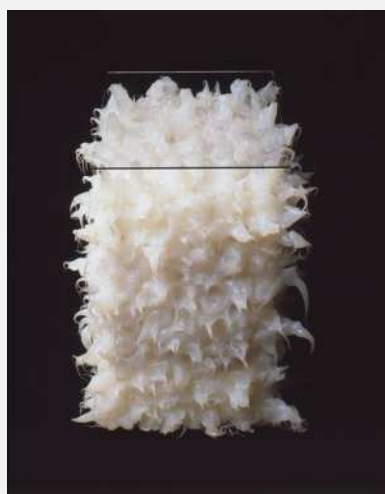
種別	特集展
会期	12月9日(土)～2018年2月25日(日)
主催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休館日	月曜日 1月8日(月・祝)(翌火曜日休館)、2月12日(月・振休)は開館 年末年始(12月29日(金)～1月3日(水))
観覧料	一般200円、高大生100円
開催日数	64日
担当	勝山滋(当館学芸員)、家田奈穂(当館学芸員)



郭徳俊《フォードと郭(B)》1974年、当館蔵



パウル・ヴンダーリッヒ《髑髏の靴》1976年 当館寄託



湯原和夫《作品No.2-05》2003年、当館蔵



福田美蘭《見返り美人 鏡面群像図》
2016年、当館蔵

内容

展覧会前半の“なんだろう”展は、これまでの所蔵品展とすこし様子がちがいます。ふだん作品に付されている作家名や題名、それに解説文もありません。なんだろう展は、いったいなにが描かれているんだらうと思いをめぐらす来館者が主役です。本展では、幻想的であったり、思わせぶりであったり、楽しくなったり、不思議な気持ちになるような所蔵作品を厳選して24点展示します。あなたなら作品にどんな題名をつけますでしょうか。また「みんなでひとつこと」「みんなのQ&A」コーナーなど、ふるってコメントして“なんだろう”と考えてみてください。

なお同時開催として、昨年度に寄贈、寄託をうけた新収蔵作品40点を展示します。新たに所蔵作品の仲間入りをした多彩な作品をご堪能ください。

関連事業

学芸員によるギャラリートーク(みんなでみてみよう/新収蔵作品のギャラリートーク)

日時：2018年1月13日(土)、2月10日(土) 各回14:00～14:40

場所：展示室 申込不要、要観覧券

教育普及

平成 29 年度下半期実施プログラム

17 プログラムを実施予定。

担当：江口恒明(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)、品川ちひろ(当館嘱託員)、石丸郁乃(当館嘱託員)

NO.	講座名	講師	開催予定日
1	体験アートセラピー コラージュボックス作り	福山恵美子(アートセラピスト)	10月7日(土)
2	東海大学協働事業 東海大学インターン生によるワークショップ	東海大学インターン生 3名	10月8日(日)
3	キッズアート(連続講座)	富田めぐみ(NPO 法人赤ちゃんからのアート フレンドシップ協会代表理事)	10月12日(木)、 11月16日(木)、 12月7日(木)
4	東海大学協働事業 デッサン教室 所蔵彫刻作品を描いてみよう 中学・高校生の部	吉村維元、仙石朋子(東海大学芸術学科の先生)	未定
5	展覧会関連事業 濱田樹里さんによるワークショップ	濱田樹里(日本画家)	10月29日(日)
6	体験アートセラピー おなかの赤ちゃんと一緒に絵を描きましょう	福山恵美子(アートセラピスト)	11月18日(土)
7	子ども向けバックヤードツアー	当館学芸員(江口恒明)	11月26日(日)
8	銅版画講座	城戸宏(版画工房主宰)	未定
9	ロビー展関連事業 彫刻を触ろう	長谷川さち(彫刻家)	12月16日(土)
10	遊んでのびのび 赤ちゃんアート 冬コース(連続講座)	富田めぐみ(NPO 法人赤ちゃんからのアート フレンドシップ協会代表理事)	1月11日(木)、 2月8日(木)、 3月8日(木)
11	銅版画講座 エッチング&アクアチントに挑戦!!(連続講座)	城戸宏(版画工房主宰)	未定
12	水野暁さんによるワークショップ	水野暁(画家)	未定
13	陶芸講座(連続講座)	尾形隆昭(陶芸家)	2月4日(日)、 2月18日(日)、 2月25日(日)
14	クスノキで動物を彫ろう	三沢厚彦	未定
15	東海大学協働事業 東海大学インターン生によるワークショップ	東海大学インターン生	未定
16	0才からの鑑賞ツアー	富田めぐみ(NPO 法人赤ちゃんからのアート フレンドシップ協会代表理事)	未定
17	キッズ鑑賞ツアー	富田めぐみ(NPO 法人赤ちゃんからのアート フレンドシップ協会代表理事)	未定

スクールプログラム

依頼があれば、随時実施しています。

担当：江口恒明(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)、品川ちひろ(当館嘱託員)、石丸郁乃(当館嘱託員)

NO.	講座名	講師	開催予定日
1	保育園鑑賞ツアー(吉沢保育園)	富田めぐみ(NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事)	10月3日(火)
2	保育園鑑賞ツアー(夕陽ヶ丘保育園)	富田めぐみ(NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事)	10月5日(木)
3	保育園鑑賞ツアー(神田保育園)	富田めぐみ(NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事)	10月11日(水)
4	保育園鑑賞ツアー(しらさぎ保育園)	富田めぐみ(NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事)	10月19日(木)
5	保育園鑑賞ツアー(若草保育園)	富田めぐみ(NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事)	10月31日(火)
6	保育園鑑賞ツアー(南原保育園)	富田めぐみ(NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事)	11月7日(火)
7	保育園鑑賞ツアー(花水台保育園)	富田めぐみ(NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事)	11月10日(金)

アートカードの貸出

平塚市美術館を代表する所蔵作品 48 点のカードと遊び方の説明書を合わせたアートカードセットを学校向け教材として無料貸出を行っています。

対話による美術鑑賞事業(ボランティア育成)

担当：江口恒明(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)

市内小学校を対象とした対話による美術鑑賞事業を実施するため、対話による美術鑑賞ボランティア(ひらびあーつま〜れ)1期生14名、2期生15名、3期生12名の育成を行っています。

ボランティア育成の為の研修会。16プログラム実施予定。

NO.	研修名	講師名	開催予定日
1	基礎研修 1回目(3期)	三ツ木紀英(ARDA)	9月2日(土)
2	基礎研修 2回目(3期)	三ツ木紀英(ARDA)	9月9日(土)
3	アートカード研修 1回目(1期2期)	桑原和美(ARDA)	9月14日(木)
4	アートカード研修 2回目(1期2期)	桑原和美(ARDA)	9月28日(木)
5	実践研修 1回目(3期)	三ツ木紀英(ARDA)	10月11日(水)
6	実践研修 2回目(3期)	三ツ木紀英(ARDA)	10月25日(水)
7	実践研修 3回目(3期)	当館嘱託員	11月1日(水)
8	実践研修 4回目(3期)	三ツ木紀英(ARDA)	11月15日(水)
9	アートカード研修 1回目(3期)	桑原和美(ARDA)	12月6日(水)
10	アートカード研修 2回目(3期)	桑原和美(ARDA)	12月20日(水)
11	実践研修 5回目(3期)	三ツ木紀英(ARDA)	1月24日(水)
12	実践研修 6回目(3期)	三ツ木紀英(ARDA)	2月14日(水)
13	実践研修 7回目(3期)	当館嘱託員	2月28日(水)
14	実践研修 8回目(3期)	三ツ木紀英(ARDA)	3月14日(水)
15	合同研修(1期2期3期)	三ツ木紀英(ARDA)	3月22日(木)
16	実践研修 9回目(3期)	当館嘱託員	3月28日(水)

対話による美術鑑賞講座。8校実施予定。

NO.	学校名	講師名	事前授業予定日	来館予定日	学年	クラス数
1	土屋小学校	ひらびあーつま〜れ	9月4日(月)	9月6日(水)	4年	1クラス
2	大野小学校	ひらびあーつま〜れ	10月17日(火)、 10月20日(金)	10月24日(火)、 10月27日(金)	3年	3クラス
3	中原小学校	ひらびあーつま〜れ	10月26日(木)	11月2日(木)	6年	2クラス
4	松原小学校	ひらびあーつま〜れ	11月16日(木)、 11月17日(金)	11月21日(火)	5年	3クラス
5	山下小学校	ひらびあーつま〜れ	11月22日(水)、 11月24日(金)	12月14日(木)	4年	3クラス
6	城島小学校	ひらびあーつま〜れ	12月13日(水)	12月19日(火)	6年	1クラス
7	なでしこ小学校	ひらびあーつま〜れ	1月11日(木)	1月18日(木)	4年	2クラス
8	花水小学校	ひらびあーつま〜れ	1月17日(水)、 1月19日(金)	1月25日(木)、 1月26日(金)	6年	5クラス

その他の事業

(1) 事業

こども年賀状とおとな絵手紙展

会期：平成 30 年 1 月 5 日(金)～1 月 8 日(月・祝)

主催：平塚市美術館

内容：美術館をより身近に感じてもらうための取り組みとして、こどもを対象とした年賀状と、新春をテーマにした絵手紙を募集します。また、運営をサポートするボランティアスタッフを募集します。

場所：市民アートギャラリー B 室

日数：4 日間

ミュージアムコンサート

日時：平成 30 年 2 月 17 日(土)開催予定 14:00～15:00

主催：平塚市美術館

出演：詳細未定

内容：詳細未定

場所：テーマホール

募集人数：150 人

第 40 回 平塚市展

会期：平成 30 年 3 月 11 日(日)～3 月 25 日(日)

主催：平塚市教育委員会

内容：地域の芸術文化の高揚と推進を図ることを目的として、昭和 53 年から開催されている公募展。

場所：展示室、市民アートギャラリー